

# ICT ニュース 2022/8 月号

2022/8/24 発行 ICT/感染管理委員会

7月に2階・3階病棟で集団感染が発生し、終息したと思いきや4階病棟での今回の発生となりました。オミクロン BA.5 の感染力は、今までのオミクロン株の 1.3 倍といわれていますが、それより増した感染力の強さを実感しました。

今後、オミクロン株の 1 種「BA.2.75(ケンタウロス)」が今後の感染状況にどのような影響を及ぼすのか、見極めも必要だと指摘されています。

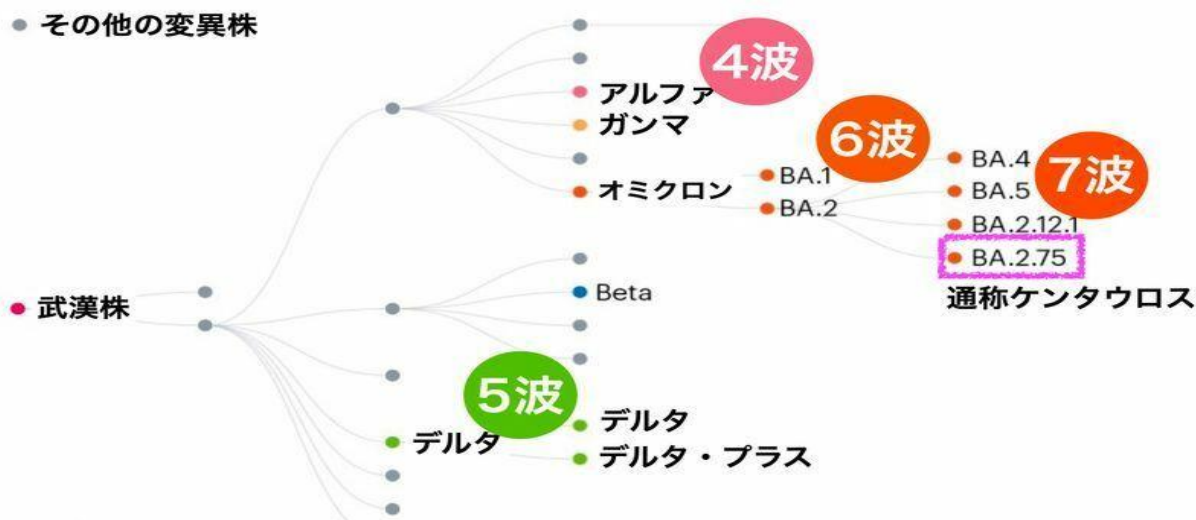
まだまだ、油断を許さない状況ですので、今後も対策の継続をお願いします。



## ● オミクロン株「BA.2.75(ケンタウロス)」とは

ギリシャ神話に出てくる上半身は人、下半身は馬の怪物、「ケンタウロス」という呼び方がされていることについて『BA.2.75』が『BA.2』と『BA.5』の両方の特徴を持っているので、このような呼び方をしています。

8 月末にはケンタウロスウイルスが第 8 波として出てくる可能性が大いにあると言われています。今年 6 月にインドで発見され、今までのオミクロン株 BA.5 の 1.13 倍の感染力があるとされています。インドでは今のところ、約 2 割を占めており、イギリス、アメリカ、フランスなどでも検出されており、国内でも東京 4 人、大阪、愛知、京都で報告があり、多くは入れ替わってくるものと思われます。その理由は、「BA.5」などと同様に、免疫を逃避する性質があり、インドでは「BA.5」よりも増加のスピードが速いということです。さらに、『BA.5』に感染してできた中和抗体が、『BA.2.75』には効果を示さない可能性があり、置き換わりが進むことで、日本では、BA.5 のピークアウトのあと、8 月末から徐々に目立ち、9 月中には拡大する可能性があります。



## ● 「BA.2.75」へのワクチンの効果

『BA.5』より S(スパイク)たんぱく部位のアミノ酸が 2 つ変異を起こしたコロナウイルスとされており、この 2 つの変異により、今までのワクチン接種で出来た抗体の感染予防効果が少なくなるそうです。(約 3 分の 1)

ただし、重症化予防率に関しては、今までのワクチンを 3~4 回打った人の方が高いといわれています。

ワクチン接種は自己判断ですが、アルファ株、デルタ株などのような重症化は、現時点で考えられていません。オミクロン株は下肺野にはウイルスが感染しないため、ケンタウロスも比較的軽症で終わるようです。さらに 10 歳代では風邪のごとくあまり重症化しませんが、家族にそのオミクロン株が感染し、家族丸ごと陽性になるケースが多いので、基礎疾患があったり、高齢者がいる家族では全員でコロナワクチンを検討してほしいと思います

# ★2022年 アルコール手指消毒剤使用量報告

